
それはいつもと同じ循環模様

一河善知鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それはいつもと同じ循環模様

【Nコード】

N2001B

【作者名】

一河善知鳥

【あらすじ】

どこで間違っただか、俺の人生。…いや、まで、これは間違っ
てない。幸せと理想を見失ったのは、きっと近くにありすぎるから。
そんなマンネリ化した恋模様。

「ちょっと…。足、踏んでるんだけど？」

「ん？…うん」

「なにその態度…？」

「んー…」

「どうしたの？」

「…なあ、雨の反対が晴れたったら、曇りの反対って？」

「うーん……微妙に…曇り？」

「…。やっぱ、俺ら駄目だなあ」

「なによ、それ」

「なんか、毎日バイトして、飯食って、飲んで、ヤッて…の変なサイクルが板についてて…」

「それって、曇りの反対と関係なくない!？」

「俺こう見えても美大目指してたんだ。…つつても、美術の成績は悪かったけど」

「…前にも聞いた」

「俺の記憶上最後の作品は …」

「隕石、でしょ？粘土丸めて終わりの」

「そうそう。そんなだった」

「…ねえ、行きなよ。バイト」

「ああ、もうそんな時間か」

「あたし、家で待ってる。何か、美味しいもの作って」

「んん。じゃ、行くか」

「頑張つて。…あ、あとさ、たぶんだけど、あたしその変なサイクルが好き」

「ん？あ、そつか。なんだろうな、曇りの裏」

「わかんない。じゃあ、いつてらっしやい」

例えば、この世界が俺には理解できない科学的な理由で滅びることがあったとしても、俺の周りだけはなにも変わらず、ちよつとべたべたした気分のままだと思う。

根拠とか、理屈とか、今だってあるようでないんだからきつとそうなるって俺は自信を持って言える。

今日の晩御飯が何かはわからないけれど、それだけはわかるんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2001b/>

それはいつもと同じ循環模様

2010年10月20日13時38分発行